

ビジネスキャリア学科 シラバスの変更一覧

学年	ページ	科目名
1年	15	ウェルネス・リテラシー
1年	23	経営学
1年	47	初年次ゼミ

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	BC-0-HSC-01				
	●	●	●	●						
科目名	ウェルネス・リテラシー				単位認定者	菅原 一昭		評価の方法	試験（筆記）	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	BC学科	選択	1年	開講時期	前期	単位数	2 単位		受講態度	30 %
						授業時間数	30 時間			
					授業形態	演習	授業回数		15 回	
授業の概要	本授業は、最新の脳科学の知見に基づき、運動が脳機能、精神的健康、学習能力に与える好影響を理論と実践の両面から学ぶことを目的とする。									
到達目標	受講生は、自らの心身の状態を客観的に把握し、生涯にわたって主体的にウェルネスを管理・向上させるための「ウェルネス・リテラシー」を習得する。									
学修者への期待等	授業は、脳科学に関するミニ講義と、ウォーキング、ジョギング、ヨガ、マインドフルネス、軽度の筋力トレーニングなど、多様な身体活動の実践を組み合わせる。他者との競争ではなく個人の成長に焦点を当て、楽しみながら持続可能な運動習慣を身につけることを目指す。									
回	授業計画					準備学修			事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
1	レイティ博士の理論概説紹介 運動と脳の革命					事前学修：シラバスを熟読し、流れを把握する 事後学修：ウェルネスログに記入			30	30
2	脳を育てる資料（BDNFと学習能力）					事前学修：BDNFについて予習する 事後学修：週3回、1回20分のウォーキング実施			30	30
3	心の安定剤（セロトニンとリズム運動）					事前学修：ポジティブになる音楽3曲選定する 事後学修：選定した音楽を聴きながら運動する			30	30
4	やる気の源（ドーパミンと目標達成）					事前学修：今迄の自分の達成感を列挙する 事後学修：週1回インターバル走を実施			60	60
5	ストレスに強くなる脳の作り方 （ストレスの闘争・逃走反応）					事前学修：ストレスの要因を3つリストアップ 事後学修：マインドフル・ウォーキングを実施			60	90
6	中間レビューと個別フィードバック					事前学修：ウェルネス・ログの振り返り 事後学修：授業後半に向けた目標設定			90	90
7	複雑な動きで脳を配線する					事前学修：普段やらない複雑な動きを試す 事後学修：週2回、1回10分バランストレ実施			30	30
8	心と体を整える（ヨガ入門） 「今、ここ」に集中する（マインドフルネス瞑想）					事前学修：ヨガの歴史や哲学について予習する 事後学修：週2回、就寝前に15分間ヨガ・瞑想実施			30	30
9	ソーシャルサポート（社会的支援）が運動の継続とメンタルヘルスに与えるポジティブな効果					事前学修：2つの研究論文の要約を読みまとめる 事後学修：ディスカッションを通してまとめる			90	90
10	ゲーミフィケーションで運動をハックする					事前学修：スマホアプリからゲーム的な要素分析 事後学修：自分自身の運動習慣継続方法の考案			30	90
11	体育館					事前学修：チームで目標達成した経験を挙げる			30	30
12	チームで挑戦（協調性とコミュニケーション）					事後学修：個人とチーム運動の違いをログに記入			30	30
13	賢く老いる（生涯にわたるウェルネス）					事前学修：年長者に、健康のために気をつけている習慣について調査する			30	90
14						事後学修：自分の5年後、10年後を見据えた「生涯スポーツ・ウェルネス計画」の草案の作成				
15	「生涯スポーツ・ウェルネス計画」の作成					事前学修：課題名について調査 事後学修：レポート課題作成			90	90
アクティブ・ラーニング	☑該当なし ☐該当あり：キーワード（ ）									
教科書	『脳を鍛えるには運動しかない！最新科学でわかった脳細胞の増やし方』 ジョン・J・レイティ、エリック・ヘイガーマン著、野中香方訳（NHK出版、2009年） 予習・復習の核として活用する。									
参考文献	授業内で適宜、最新の研究論文（主要部分の和訳・要約版）、厚生労働省『健康づくりのための身体活動基準』、WHO『身体活動に関するガイドライン』などの公的資料、および信頼性の高い科学系ウェブサイトやドキュメンタリー動画などを紹介する。									
備考	学生はUNIPAを定期的に確認することが求められる。									

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

高等学校・専門学校教諭として20年間、主に保健体育、生涯・障害スポーツ、レクリエーションの授業に従事した経験に基づいて実践的な講義を実施。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	BC-2-CCO-03				
	●	●								
科目名	経営学				単位 認定者	遠藤 憲子		評価の方法	授業内課題等	90 %
対象学科 必修・選択 配当年次	BC学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	2 単位		受講態度	10 %
					授業形態	講義	授業時間数		30 時間	
							授業回数		15 回	
授業の概要	企業の仕組みについて理解し、企業活動の本質的な行動原理をわかるようにする。また、企業活動を管理する必要性を学ぶ。									
到達目標	基礎理論を習得し、「経営学」の全体観を持つ。アントレプレナーシップを習得し、事業計画が作れるようになる。									
学修者への期待等	「経営学」の理論は、広い社会に出て活躍するためのヒントで満ち溢れている。理論をしっかり習得し、日頃から仮説、検証、考察の習慣を身に付けること。非常に広範な学問領域を一気に学習するが、興味あるテーマを見つけ、最低1冊は名著に触れてほしい。									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
1	講義ガイダンス 経営学の体系、経営学と経済学の違いについて				事前学修：経営学と経済学の違いを調べる 事後学修：指示された課題の実施				30	60
2	アントレプレナーシップとは何か 起業家精神を持って経営学に取り組む姿勢				事前学修：アントレプレナーシップを調べる 事後学修：地域の街づくりと企業調査実施 1				30	30
3	経営学ドラッカーの理論とマーケティング理論の基礎 地域の街づくりと企業調査GWと発表 1 (仙台駅・駅前商店街)				事前学修：教科書第1章#101～105を読む 事後学修：指示された課題				30	30
4	事業構想を考える 1 (顧客の課題を考える) ペルソナ分析と実践GWと発表				事前学修：教科書第2章#201～205を読む 事後学修：地域の街づくりと企業調査実施 2				30	30
5	会計のしくみ基礎編 (売上と経費) 地域の街づくりと企業調査GWと発表 2 (名掛丁商店街)				事前学修：教科書第6章#601～605を読む 事後学修：地域の街づくりと企業調査実施 3				30	30
6	経営戦略論 1 (アンゾフの多角化戦略と事例調査) 地域の街づくりと企業調査GWと発表 3 (クリスロード商店街)				事前学修：教科書第5章#501～503を読む 事後学修：地域の街づくりと企業調査実施 4				30	30
7	経営戦略論 2 (マイケルポーターの競争戦略と事例調査) 地域の街づくりと企業調査GWと発表 4 (マーブルロード商店街)				事前学修：教科書第5章#504～509を読む 事後学修：地域の街づくりと企業調査実施 5				30	30
8	事業構想を考える 2 (ビジネスモデルキャンパスを利用した具体的ビジネスの検討) 地域の街づくりと企業調査GWと発表 5 (一番町通り3商店街との比較調査)				事前学修：教科書第2章#206～210を読む 事後学修：指示された課題の実施				30	30
9	イノベーション論基礎 (シュムペーター、クリステンセン、チェスブロウ等)				事前学修：「イノベーション」のweb調査 事後学修：指示された課題の実施				30	30
10	地域の街づくりと企業調査まとめ				事前学修：これまでの調査結果をまとめる 事後学修：指示された課題の実施				30	30
11	事業構想を考える 3 まとめレポート I (事業計画作成について)				事前学修：自身の取り組むテーマを絞り込む 事後学修：指示された課題の実施				30	60
12	【遠隔】経営学、組織論の歴史と変遷戦略を動かす組織論 (サイモン等の理論学修、組織デザイン、パーパス経営等)				事前学修：組織論についてのweb調査 事後学修：指示された課題の実施				30	30
13	働く人を活かす理論 (マズロー、マクレガーなどの動機付け理論)				事前学修：動機付け論のweb調査 事後学修：指示された課題の実施				30	30
14	リーダーシップ、経営者の役割 (バーナード、組織デザイン等)				事前学修：リーダーシップのweb調査 事後学修：指示された課題の実施				30	30
15	経営学理論のまとめ				事前学修：12～14回の復習をして来る 事後学修：課題の復習を行う				30	30
アクティブラーニング	□該当なし ☑該当あり：キーワード (グループワーク (GW)、発表)									
教科書	『今日から使える経営学』中川功一、大和書房									
参考文献	『アントレプレナーシップ入門』忽那憲治、長谷川博和他 有斐閣ストゥディア									
備考	①受講者の理解度により、講義の順番や重点項目を変えることがある。 ②学修した理論を実践的に理解するため、地域関係者の協力を得ながら地域事例調査 (課外活動) を実施し、グループワークを交えて講義を進める。ゲストスピーカーを招聘する場合がある。 ③原則毎回解説資料及び課題を配布する (web提示を含む)。課題結果は講義内で講評又は意見を付して返却する。									

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)
36年間公務員として産業経済政策を担いながら大学院にて経営学博士を取得し、理論実践を実行してきた。理論を実践できる力の習得を支援する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）
